

電氣設備点検
判定基準

遮断器

		点検日	天候:			気温:	湿度:
		点検者					
外観	損傷部品・変色	受けと刃が十分に接触していること 触面に荒れ、亀裂、損傷がないこと サーモラベル及び機器の変色がないこと。					
	締付部の緩み	主導電部は合いマークにずれがないこと。 その他、レンチで軽くまわし接触圧を確認し、ぐらつきがないこと。					
本体 操作 機構	クラッチの掛かり具合	手動開閉動作がスムーズであること 動作がにぶい場合はクラッチが固着していないか					
	ピンローラー動作の円滑	手動開閉動作がスムーズであること 動作がにぶい場合はローラーがスムーズにまわるか					
	補助開閉器・補助リレーの状態	リレーもしくは遠方での開閉動作がスムーズであること					
	ジャンクションの状態	痛みやぐらつきがないこと					
	真空バルブの状態	外観にて絶縁筒とその周辺に傷がないことを確認、ウェスで清掃実施					
	インターロック装置	遮断機及び断路器との動作試験を行いインターロックが正常に機能することを確認する。					
	引き出し装置の状態	スムーズに引き出しされること					
	制御回路の接触抵抗	目視にて回路盤の取付状態を確認、ぐらつきがないこと					
	手動操作の円滑	開閉操作を行うときにスムーズに動作すること					
抵絶 抗縁	主導電部 — 大地間(MΩ)	6MΩ以上であること 但し 前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。 精密機器を用いているものは線間の絶縁抵抗測定を省略する。					
	主導電部各相互間 (MΩ)						
	制御回路 — 大地間(MΩ)						
真空 バルブ	試験項目	R	S	T			
	全ストローク寸法(mm)	-	-	-			
	ワイプ長寸法 9mm±1mm(mm)	-	-	-			
	ギャップ寸法 6mm±1mm(mm)	-	-	-			
	真空度 22kV 1分印加(mA)	-	-	-			
最小動作 電圧及び電流	電圧(V)	奈良井ダム 50±10%Vであること 発電所 50±10%Vであること					
	電流(A)	奈良井ダム 0.7±10%Aであること 発電所 3.7±10%Aであること					
閉 極 電 時 間 開 測 定	開極時間測定	おおよそ22ms以内であること 3相ともに不揃いでないこと					
	閉極時間測定	おおよそ45ms以内であること 3相ともに不揃いでないこと					
備考	・該当機器 52R、52G、152、252、352						

断路器 PAS LBS

		点検日	天候:	気温	湿度:
		点検者			
外 観	損傷部品・変色	受けと刃が十分に接触していること 触面に荒れ、亀裂、損傷がないこと サーモラベル及び機器の変色がないこと。			
	締付部の緩み	主導電部は合いマークにずれがないこと。 その他、レンチで軽くまわし接触圧を確認し、ぐらつきがないこと。			
本 体 操 作 機 構	接触面の荒れ、損傷	開閉動作を行い、目視にて受けと刃が十分に接触していること 接触面に荒れ、亀裂、損傷がないこと			
	可動部の状態	正常に開閉動作すること			
	端子部の締付け状態	指で端子部を動かし、ぐらつきがないこと。			
	碍子のひび、割れ、汚れ	ひび、割れ、汚れがないこと			
	インターロック装置	遮断機及び断路器との動作試験を行いインターロックが正常に機能することを確認する。			
	接触圧の状態	指で接触圧を確認し、ぐらつきがないこと。押してぐらつきがないこと			
	手動操作の円滑	開閉操作を行うときに引っかかりがないこと (スムーズに動作すること)			
絶 縁 抵 抗	主導電部 — 大地間(MΩ)	電圧7.2KV(6MΩ以上であること) 電圧600V(0.4MΩ以上であること) 但し 前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。 精密機器を用いているものは線間の絶縁抵抗測定を省略する。			
	主導電部各相互間 (MΩ)				
	制御回路 — 大地間(MΩ)				
備 考	・該当機器 DS89R(7.2/3.6KV)、DT-DS83RG(600V)、DS189(7.2KV)、E189(7.2KV)、DT-DS389(7.2KV)、 H.Tr LBS(7.2KV)、DS289(7.2KV)、PAS(7.2KV)				

変圧器

		点検日	天候:	気温:	湿度:
		点検者			
外 観 構 造	各部の腐食・損傷	腐食や損傷がないこと			
	油面計の損傷及び油量	M.Trのみ対象 傷や亀裂、錆がないこと、前回値と比べ油量が減少していないこと			
	油 漏 れ	M.Trのみ対象、目視で油漏れがないことを確認、油漏れがあった場合 ウェスでふき取り、漏れている箇所を特定する。			
	温度計の損傷	傷や亀裂、錆がないこと			
	温度計の指示値(°C)	指示値を記録			
	温度計の最高値(°C)	デマンド値が最高値に達していないこと			
	放圧板の状態	M.Trのみ対象、目視で確認 破損、グラつき、油漏れがないこと			
	錆 の 状 態	目視で確認し錆がないこと			
	接地線取付状態の確認	手で触れて緩みがないこと			
ブ ッ シ ン グ	取付ボルトの状態	レンチで締付がされていること			
	碍子の状態	手で触れてグラつきがないこと			
	碍子の損傷の程度	目視で傷、汚れがないこと			
	碍子の放電痕跡	目視で放電の痕跡がないことを確認			
導 電 部 締 付	端子部の過熱緩み	サーモラベルに変色がないこと			
	一次側導体締付	レンチを用いて緩みがないこと			
	二次側導体締付	緩みがないこと(レンチを使用)			
	保護回路端子締付	緩みがないこと(レンチを使用)			
絶 縁 抵 抗	一次 — 大地間(MΩ)	電圧7.2KV(6MΩ以上であること)			
	二次 — 大地間(MΩ)	電圧300V以下(0.2MΩ以上であること)			
	一次 — 二次間(MΩ)	但し 前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。			
	警 報 回 路 (MΩ)	精密機器を用いているものは線間の絶縁抵抗測定を省略する。			
備 考	<p>・該当機器</p> <p>H.Tr(動力用)、S.Tr(照明用)、SR(コンデンサ用)、制御電源用変圧器</p> <p>M.Tr(主変圧器)、所内用変圧器、励磁用変圧器</p>				

変成器・変流器

点検者		点検日		天候		気温		湿度	
設置箇所	機器	型式	P-S	P-T	S-T	P-E	S-E	T-E	判定基準
絶縁抵抗測定(回路を含む) [MΩ]									
6.6kV母線	GPT	GVE1-6-110/5G	6MΩ以上	6MΩ以上	6MΩ以上	6MΩ以上	0.1MΩ以上	0.1MΩ以上	・端子の状態 ・端子等を用いて緩みがないこと
6.6kV母線	GPT	GVE1-6-110/5G							
6.6kV母線	GPT	GVE1-6-110/5G							
発電機	PT	PEC-2-6							・発錆、損傷 ・目視にて錆や傷がないこと
発電機	PT	PEC-2-6							
発電機	CT	NCE2-6B/100							
発電機	CT	NCE2-6B/100							
送電線	GPT	GVE1-6-110/5G	6MΩ以上	6MΩ以上	6MΩ以上	6MΩ以上	0.1MΩ以上	0.1MΩ以上	・支持物の状態 ・目視、及び手で触れて傾きやグラつきがないこと
送電線	GPT	GVE1-6-110/5G							
送電線	GPT	GVE1-6-110/5G							
送電線	CT	NCE2-6B/100							
送電線	CT	NCE2-6B/100							
送電線	ZCT	ZCE-1							
予備線	CT	NCE2-6B/15							
予備線	CT	NCE2-6B/15							
予備線	PT	PEC-1-6/100							・変形、変色 ・目視で確認し変形や変色がないこと
予備線	PT	PEC-1-6/100							
前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。									

変成器・変流器・電力ヒューズ

点検者		点検日		天候		気温		湿度	
設置箇所	機器	型式	P-S	P-T	S-T	P-E	S-E	T-E	判定基準
絶縁抵抗測定判定基準値(回路を含む) [MΩ]									
引込盤	PT	EE-6-SA	6MΩ以上	6MΩ以上	6MΩ以上	6MΩ以上	0.1MΩ以上	0.1MΩ以上	端子の状態 レンチ等を用いて緩みがないこと
引込盤	-	HPT12							
引込盤	-	HPT12							発錆、損傷 目視にて錆や傷がないこと
受電盤	CT	CD-25D5							
受電盤	CT	CD-25D5							支持物の状態 目視、及び手で触れて傾きやグラつきがないこと
受電盤	VT	EE-6-SA							
受電盤	VT	EE-6-SA							変形、変色 目視で確認し変形や変色がないこと
動力用変圧器盤	ZCT	ZR-80							
動力用変圧器盤	CT	CW-15L							
動力用変圧器盤	CT	CW-15L							
動力用変圧器盤	CT	CW-15L							
動力用変圧器盤	CT	CW-15L							
照明変圧器盤	CT	CW-15L							
照明変圧器盤	CT	CW-15L							
照明変圧器盤	CT	CW-16L							
照明変圧器盤	CT	CW-17L							

前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。

避雷器

		点検日		天候:	気温:	湿度:
		点検者				
外 観 構 造	容器外観の状態	傷、汚れがないこと				
	ボルト、ナット類の状態	締付がされていること				
	配線の状態	傷や汚れがないこと 断線がないこと				
	接地端子の状態	手で触れて緩みがないこと 正常に接続されていること				
	端子の状態	手で触れて緩みがないこと				
	がい管の状態	傷(亀裂)、汚損、落雷の形跡がないこと				
絶 縁 抵 抗	主導電部—大地間 (MΩ)	6MΩ 以上であること 但し 前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。 精密機器を用いているものは線間の絶縁抵抗測定を省略する。				
	絶縁ベース—大地間(MΩ)					
備 考	<p>該当機器</p> <p>引込用LA、母線LA、G母線SA、送電線LA、えん堤線LA、予備受電線LA</p>					

配電盤、補助継電器盤

		点検日	天候:	気温:	湿度:
		点検者			
点検内容		回路名	動力変圧器盤	照明変圧器盤	
		盤面	盤表面取付器具類破損の確認	目視で確認 汚れ、破損がないこと	
盤面		計器の零点指示、または指示確認	計器の破損がないこと 正常値を示していること		
		扉の開閉及び施錠確認	スムーズに開閉すること		
	主回路		導電部締付及び過熱の確認	合いマークにずれがないこと レンチ等を用いて緩みがないこと 過熱の跡がないこと	
		サーモラベル変色の確認	変色がないこと		
		支持碍子、絶縁物の汚損、損傷の確認	目視で確認 汚損 破損がないこと		
		ケーブル端末部の状態	手で触れて緩みがないこと 正常に接続されていること		
制御		端子台、器具の接続部締付確認	手で触れて緩みがないこと 正常に接続されていること		
		制御線の変色・結束の状態	変色がないこと、結束されていること		
		端子台、端子カバーの損傷の確認	目視で確認 破損、錆、汚損がないこと		
変成器		取付状態	レンチ等を用いて緩みがないこと		
		外観構造	機器の傾き等がないこと		
		端子の締付状態(一次側)	緩みがないこと		
		端子の締付状態(二次側)	正常に接続されていること		
		引出し機構の確認	スムーズに引出されること		
その他		各機器の外観、取り付け状態確認	外観上異常がないこと、ガタツキがないこと		
		盤内の汚損、発錆の確認	目視で確認、汚損、錆がないこと		
		接地線の取付状態	手で触れて緩みがないこと		
		ケーブル貫通部の小動物対策状況	貫通部が塞がれていること 糞等小動物侵入の痕跡がないこと		
		主回路絶縁抵抗測定	電圧7.2KV(6MΩ以上であること) 電圧600V(0.4MΩ以上であること) 但し 前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。 精密機器を用いているものは線間の絶縁抵抗測定を省略する。		
		制御回路絶縁抵抗測定			
備考	・該当機器 引込盤、受電盤、動力変圧器盤、照明変圧器盤、送電線しゃ断器盤、発電機しゃ断器盤 所内変圧器盤、予備受電線盤、えん堤線しゃ断器盤				

分電盤 機側操作盤

		点検日					天候:	気温:	湿度:
		点検者							
分電盤点検記録	点 検 内 容	判 定							
	盤表面取付け器具類破損の確認	目視で確認 汚れ、破損がないこと							
	導電部締付け及び過熱の確認	合いマークにずれがないこと レンチ等を用いて緩みがないこと 過熱の跡がないこと							
	ケーブル端末部の状態	手で触れて緩みがないこと 正常に接続されていること							
	端子台、器具接続部の締付け確認	手で触れて緩みがないこと 正常に接続されていること							
	端子台、端子カバーの損傷の有無	目視で確認 破損、錆、汚損がないこと							
	各機器の外観、取付け状態の確認	ガタつき等がないこと							
	盤内の汚損、発錆の有無	目視で確認、汚損、錆がないこと							
	接地線の取付け状態	手で触れて緩みがないこと							
ケーブル貫通部の小動物対策	貫通部が塞がれていること 糞等小動物侵入の痕跡がないこと								
負 荷 名 称	絶縁抵抗測定(MΩ)								
	U-E	V(N)-E	W-E	X-E	Y-E	(+)-E	(-)-E	前回値	
各ブレーカー	0.4MΩ以上(低圧) 制御回路2MΩ以上 (但し150V以下0.1MΩ以上、150V超300V以下0.2MΩ以上であること) 前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。 対地電圧での絶縁抵抗測定を行う。								
備 考	・該当機器 仕様書点検対象機器のとおり								

電力コンデンサ

		点検日		天候:	気温:	湿度:
		点検者				
外 観 構 造	各部の腐食・損傷	目視で確認 汚れ、破損がないこと				
	油面計の損傷及び油量	油面計設置の機器のみ該当 目視で油量を確認 記録				
	油 漏 れ	目視で油の漏れがないことを確認				
	温度計の損傷	温度計設置の機器のみ該当 損傷がないこと				
	温度計の指示値(°C)	温度計設置の機器のみ該当 目視で温度を確認 記録				
	温度計の最高値(°C)	温度計設置の機器のみ該当 目視で最高温度を確認 記録				
	放圧板の状態	放圧板設置の機器のみ該当 損傷、汚損、グラつきがないこと				
	錆 の 状 態	錆がないこと(目視で確認)				
	接地線取付状態の確認	手で触れて緩みがないこと				
ブ ッ シ ン グ	取付ボルトの状態	傷、汚損、緩みがないこと				
	碍子の状態	グラつき、損傷、汚損がないこと				
	碍子の損傷の程度	損傷がないこと、ある場合は交換の必要性について報告				
	碍子の放電痕跡	放電跡がないこと(目視で確認)				
導 電 部 締 付	端子部の過熱緩み	レンチ等を用いて締付がされていること				
	一次側導体締付	レンチ等を用いて締付がされていること				
	二次側導体締付	レンチ等を用いて締付がされていること				
	保護回路端子締付	レンチ等を用いて締付がされていること				
絶 縁 抵 抗	一次 — 大地間(MΩ)	電圧7.2KV(6MΩ以上であること) 電圧600V(0.4MΩ以上であること) 但し 前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。 精密機器を用いているものは線間の絶縁抵抗測定を省略する。				
	二次 — 大地間(MΩ)					
	一次 — 二次間(MΩ)					
	警 報 回 路 (MΩ)					
備 考	・該当機器 電力コンデンサ					

引込柱

		点検日	天候:	気温:	湿度:
		点検者			
照明 引込柱 取付 支柱 本体	汚損の有無	目視で確認 目立った汚損がないこと			
	ひび割れの有無	目視で確認 ひび割れがないこと			
	傾斜の状態	目視で確認 本体の傾きがないこと			
腕金 ・ 金具	発錆・腐食の有無	目視で確認 目立った汚損がないこと			
	湾曲・変形の有無	目視で確認 ひび割れがないこと			
	ボルト類の緩み・脱落の有無	目視で確認 本体の傾きがないこと			
碍子	破損・ひび割れの有無	目視で確認 碍子が固定され破損 ひび割れがないこと			
	塵埃の付着・汚損の有無	目視で確認 碍子の汚損がないこと			
支線	断線・緩みの有無	目視で確認 断線、緩み、もつれがないこと			
	支線グリップ脱落の有無	目視で確認 グリップの破損、脱落がないこと			
備考	<p>・該当機器 仕様書点検対象機器のとおり</p>				

予備発電設備

		点検日		天候:	気温:	湿度:
		点検者				
エンジン						
外観構造	防振ゴムの状態	目視電確認 亀裂等がなく防振機能が働いていること				
	異音・異臭の有無	運転中に異音、異臭がないこと				
	震動・過熱の有無	運転中に異常な振動や温度上昇がないこと				
	漏油・漏水の有無	油の漏れ、漏水がないこと				
	亀裂・損傷の有無	亀裂 その他破損がないこと				
	各部緩み・脱落の有無	ボルト等の緩みや脱落がないこと				
	回転計の指示	運転中の回転数を記録 定格±10%程度であること				
燃料装置	燃料タンクの状態	破損、汚れがないこと				
	燃料の油量・漏油の有無	油量の記録、及び漏れがないこと 油の変色、汚物の混入がないこと				
	燃料計の指示	実際の油量と比べ大きな誤差がないこと				
	燃料配管の状態	配管の破損、汚損、漏油がないこと				
冷却装置	冷却水の水量	冷却水のキャップから確認し適正な水量であること				
	冷却水配管の状態	配管の破損、汚損、漏油がないこと				
	ファン・ファンベルトの状態	緩みや亀裂がないこと				
	ホース損傷・劣化の有無	亀裂、液体の漏れがないこと				
潤滑装置	エンジンオイルの汚れ	ゲージから確認しオイルの変色、汚れがないこと				
	エンジンオイルの油量	ゲージから確認し油量が適正であること				
	油ポンプの状態	運転中 正常動作を確認				
	油圧リレーの状態	正常に警報が発生すること				
備 考	・当該機器 仕様書点検対象機器のとおり					

予備発電設備

		点検日		天候:	気温:	湿度:
		点検者				
発電機						
外観構造	各部損傷・亀裂・緩み・脱落の有無	亀裂 その他破損がないこと				
	冷却水温度計他計器の指示	運転中の指示値を記録、異常値に達していないこと				
	配管の状態	配管の破損、汚損、漏油がないこと				
	端子台・電磁接触器の状態	目視で確認 破損、錆、汚損がないこと				
	保護継電器・補助継電器の状態	取付状況に問題ないこと 連動試験で正常に機能すること				
	各部発錆・破損・変形・変色の有無	目視で確認 破損、錆、汚損がないこと				
	各スイッチ・配線・支持物の状態	目視で確認、破損、汚損、断線ガタつき等がないこと				
	表示器・表示灯の状態	正常に点灯していること				
	接地線取付状態	手で触れて緩みがないこと				
整流子	ホルダーの状態	破損や摩耗がされていないこと				
	損傷・亀裂・磨耗の状態	目視にて損傷、亀裂、摩耗がないこと				
	スナップリングの状態	大きく摩耗していないこと、清掃実施				
制動装置	動作状態	発電機運転中で正常な動作をすること				
	損傷・亀裂・磨耗の状態	目視で損傷、亀裂、摩耗がないこと				
始動装置	運転・停止の状態	前回と比べ、始動停止時間に大幅な変化がないこと				
	各計器の指示状態	正常値であること				
	各部異音・異臭	異臭、異音がないこと				
	各装置の動作状態	正常動作をしていること				
備 考	<p>・当該機器 仕様書点検対象機器のとおり</p> <p>始動、発電、負荷切替、エンジン停止、停止時間を記録すること</p> <p>発電電圧は202±20V以内であること</p>					

	排 水 ポ ン プ	測定年月日	
		測定者	
		立合者	

天候 外気温度 °C 水車室温度 °C 湿度 %

・機器仕様

使用箇所	ポ ン プ							原 動 機		
	型式	機番	製年	製造者	吐出口径	揚程(m)	(m ³ /min)	製造者	出力(kW)	電流(A)
排水ポンプNo.1	100DLC611	—	—	EBARA	100	30.8	0.8	EBARA	11	41
排水ポンプNo.2	100DLC611	—	—	EBARA	100	30.8	0.8	EBARA	11	41

・ポンプ揚水量測定

使用箇所		判定基準
吐 出 水 圧 [MPa]		—
電動機電流	盤メーター [A]	値を記録する。 40A程度
	電流クランプ [A]	値を記録する。
電 動 機 電 圧 [V]		202±20V
測 定 時 間 [sec]		値を記録する。
使 用 揚 程 [m]		値を記録する。
水 槽 容 量 [L/cm]		値を記録する。
水 槽 流 入 量 [L/min]		値を記録する。
水 始 め [cm]		値を記録する。
水 位 終 わり [cm]		値を記録する。
水 位 差 [cm]		値を記録する。※1
揚水量	[L/min]	仕様以上であること※1
	[m ³ /min]	仕様以上であること※1
前 回 揚 水 量 [L/min]		—
判 定 (良・否)		

・給排水水槽仕様

名 称	縦(m)	横(m)	高さ(m)	容量(m ³)
排水計室 排水水槽	1.0	5.6	1.0	5.6

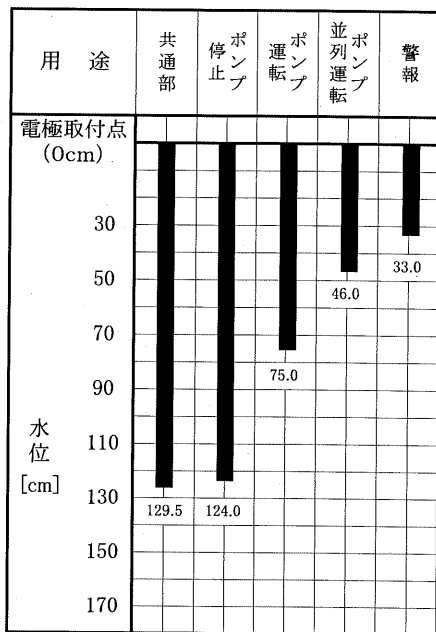
・絶縁抵抗測定

使用箇所	電動機		制御回路	
	AC	DC	AC	DC
排水ポンプNo.1	※2	/	※2	/
排水ポンプNo.2	※2	/	※2	/
電 極	/	/	/	/

※1 前回値と比べ大幅に変化していないこと

※2 0.2MΩ以上

・電極水位測定



前回値と比べ測定値が著しく落ちている場合は懸案事項として報告する。

奈良井ダム排水ポンプを基準としている。
電圧、電流、揚水量については各メーカーの基準に合わせる

投光器

電気室名	—	点検日		天候:	気温:	湿度:
		点検者				
点検項目			判定基準			
取付状態			破損、緩みがないこと			
発錆・汚損の有無			錆、汚損がないこと			
取付金具・ボルト類緩み・脱落の有無			ボルト、金具の緩み、脱落がないこと			
電球等の破損・緩みの有無			破損、緩みがないこと			
電線等の破損・ひび割れ・断線の有無			破損、ひび割れ、断線がないこと			
安定器等付属品の状態			正常に動作すること 破損、ガタつきがないこと			
点灯状態・点灯方向			正常に点灯すること			
備考	目視にて良否を判断					

接地抵抗 試験結果の判定値

接地抵抗試験

接地工事の種類	判 定 値	対 称 機 器
A種接地工事	10Ω以下	特 高 機 器 (含む鉄鋼) 高 圧 機 器 特 高 PT-CT 二 次 一 端 架 空 地 線 避 雷 器
B種接地工事	中部電力発電所バンク毎に算出された抵抗値以下 $\left[\frac{150}{\text{変圧器高圧側電路の1線地絡電流}} \right]$ (ただし、変圧器の高圧側の電路と低圧側の電路と混触により低圧電路の対地電圧が150vを超えた場合に2秒以内に自動的に高圧電路を遮断する装置を設けるときは「150」は「300」とする。)	変 圧 器 二 次 一 端 変 圧 器 一 次 二 次 混 触 防 止 板
D種接地工事	100Ω以下 $\left[\text{最大動作時間0.5秒以内の漏電遮断器による保護された低圧回路} \text{-----} 500\Omega \text{以下} \right]$	高 圧 PT-CT 二 次 一 端 高 圧 フ レ ー ム、 配 電 盤 3 0 0 v の 機 器
C種接地工事	10Ω以下 $\left[\text{最大動作時間0.5秒以内の漏電遮断器による保護された低圧回路} \text{-----} 500\Omega \text{以下} \right]$ 接地箱等を通して一括に測定	3 0 0 v を 超 え る 低 圧 機 器

- [注] 1. 表中の () 内の数値も使用できる。
 2. 「変圧器一相分の容量」とは、次の値をいう。
 (1) 三相変圧器の場合は、定格容量の1/3kVAをいう。
 (2) 単相変圧器同容量のΔ結線又はY結線の場合は、単相変圧器の一台分の定格容量をいう。
 (3) 単相変圧器V結線の場合
 イ. 同容量のV結線の場合は、単相変圧器の一台分の定格容量をいう。
 ロ. 異容量のV結線の場合は、大きい容量の単相変圧器の定格容量をいう。
 3. 1つの遮断器で保護される変圧器が2バンク以上の場合には、「変圧器一相分の容量」は各変圧器に対する[注]2の容量の合計とする。
 4. 単相3線式の場合は、200v級を適用する。

試験結果の判定値

[絶縁抵抗測定]

別紙 2

測定対象	判定値	測定対象	判定値																														
[高圧関係]		[低圧関係]																															
受電設備の母線付属機器一覧 ケーブル単体 雨天 O C B	6 MΩ以上 1000 MΩ以上 1 MΩ以上 50 MΩ以上	使用電圧 300 v以下 対地電圧 150 v以下 対地電圧 150 v超過 使用電圧 300 v超過	0.1 MΩ以上 0.1 MΩ以上 0.2 MΩ以上 0.4 MΩ以上																														
変圧器	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="6">高圧側</th> </tr> <tr> <td>油温</td> <td>20℃</td> <td>30℃</td> <td>40℃</td> <td>50℃</td> <td>60℃</td> </tr> <tr> <td>MΩ</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>50</td> <td>25</td> </tr> <tr> <th colspan="6">低圧側</th> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">2 MΩ以上</td> </tr> </table>	高圧側						油温	20℃	30℃	40℃	50℃	60℃	MΩ	400	200	100	50	25	低圧側						2 MΩ以上						対地電圧（接地式電路においては、電線と対地との間の電圧、非接地電路においては、電線間の電圧をいう）が150 v以下の場合。	
高圧側																																	
油温	20℃	30℃	40℃	50℃	60℃																												
MΩ	400	200	100	50	25																												
低圧側																																	
2 MΩ以上																																	
電力コンデンサー 避雷器	100 MΩ以上 100 MΩ以上																																
発電機、回転機	$\left[\frac{E + \frac{N}{3}}{P + 2000} + 5 \right]$ MΩ以上																																
静止機器	$\left[\frac{E}{P + 1000} \right]$ MΩ以上 E : 定格電圧 (v) N : 定格回転数 (rpm) P : 定格出力 (Kw又はKvA)																																

- (注) 1. 測定値がこの表の値の10倍程度以下の場合には、電路に異常があることが多いから注意すること。
 2. 対地電圧とは、接地式電路において、電線と対地間の電圧、非接地式電路においては、電線間の電圧をいう。

[絶縁油試験]

試験項目	全酸化	絶縁破壊電圧	体積抵抗率	水分
判定値	mgKOH/g	kV/2.5mm	Ωcm50℃	mg/kg
異常	0.3以上	30未満	1.0×10^{11} 未満	50以上
要監視	0.2~0.299	—	—	30~50未満
良好	0.2未満	30以上	1.0×10^{11} 以上	30未満

[AOG試験]

動作電流特性			動作時間特性		
整定タップ	入力条件	管理値	整定タップ	入力条件	管理値
I ₀ =0.2 [A]	I ₀ =可変測定	整定タップ 値の±10% 以内で動作すること	I ₀ =0.2 [A]	I ₀ =0.2 [A] × 130%=0.26 [A]	0.1~0.3 [秒]
				I ₀ =0.2 [A] × 400%=0.8 [A]	0.1~0.2 [秒]